



2021 RACE REPORT

GAZOO Racing 86/BRZ Race 第9戦/第10戦

2021年10月16日(土)～17日(日)

岡山国際サーキット(岡山県美作市)

プロフェッショナルシリーズ

川合選手が2戦連続の入賞。吉田選手は悔しい結果に

前戦 SUGO に続く 1 ラウンド 2 レース開催。土曜日に予選と第9戦の決勝、日曜日に第10戦の決勝が行われました。プロフェッショナルシリーズのエントリー台数は28台。土曜日の天候は曇。予選は15分間で行われ、ベストタイムで第9戦、セカンドベストタイムで第10戦のグリッドが決まります。川合選手は開始2分後にコースイン。翌周から2周連続でアタックを行い、1分49秒582(9位)、1分50秒732(13位)をマーク。第9戦の予選結果が9位、第10戦が13位となりました。吉田選手はコースの混雑状況を見極め予選開始7分後にコースイン。最初のアタックで1分49秒862(15位)をマークします。吉田選手は翌々周に再度アタックを行い、1分51秒008(18位)をマーク。第9戦の予選結果が15位、第10戦が18位となりました。第9戦の決勝は16時から行われ、川合選手は10周目で1周目を終了。ペースは良好で、6周目に9位に上がると、タイヤを温存しながらも8周目に#988井口選手、10周目に#123松井選手、さらに11周目に#906佐々木選手を無理なくパス。予選順位から3つ順位を上げ、6位でチェッカーを受けました。また、15番グリッドからスタートした吉田選手は、中団から追い上げのレースを展開。5周目に#293岡本選手、11周目に#504富林選手を抜き、入賞まであとひとつの11位でチェッカーを受けました。



翌日曜日の天候は晴。第10戦の決勝は13時から行われ、13番グリッドからスタートした川合選手が1つ順位を上げ、12周目で1周目を終了。2周目に#293岡本選手、5周目に#70伊東選手をパスし、入賞圏内に上がります。終盤、川合選手を含む6台による6位争いが激化し、さらにポジションアップを狙いますが、順位は変わらず。10位でチェッカーを受けました。また、18番グリッドからスタートした吉田選手のペースも良好。5台抜きを見せ、13位でチェッカーを受けますが、レース後、走路外走行のペナルティが科され、レース結果に10秒が加算されることに。吉田選手の正式結果は23位となりました。今シーズンは残り2大会3戦。両ドライバーのベストリザルト更新に期待です。



#160 埼玉トヨペット GB 86 BS

吉田 広樹

第9戦 **決勝：11位** 予選15位
(1分49秒862)第10戦 **決勝：23位** 予選18位
(1分51秒008)

■第9戦：レースが落ち着いてからは結構ペースが良かったです。ブレーキングなど、自分たちの良いところがあったので、そこで仕掛けていき、何台か抜くことができました。ペースは悪くありませんでしたが、やっぱり予選の位置が悪くて。ポイントまであとちょっとの11位で終わってしまったので、課題は予選ですね。

■第10戦：激しいレースでした。順位はぼちぼち上げられたのですが、結果を見てもわかる通り、コースをはみ出しながら走り過ぎてしまい、最終的にペナルティをもらってしまい23位となってしまいました。レース自体はいいレースだったと思うのですが、そういう部分がプロとしてふさわしくなく、残念な結果になってしまいました。



#521 埼玉トヨペット GB 86 BS

川合 孝汰

第9戦 **決勝：6位** 予選9位
(1分49秒582)第10戦 **決勝：10位** 予選13位
(1分50秒732)

■第9戦：スタートの蹴り出しも非常に良く、1コーナーで内側のクルマを抜きたかったのですが、なかなかうまくいかなくて。後半のペースは良かったのですが、シフトミスで順位を下げてしまいました。クリアかつ良いペースで走っていたので、自分にとってもプラスになるレースでした。確実にいけるところで勝負をして、残り2周ぐらいで前を出てからは明日に向けて温存していました。

■第10戦：昨日ほど抜けなかったのですが、とりあえず何事もなく、しっかりポイントをとれ、良かったと思います。ただ、狙っているところは上なので、もうちょっと上にいきたいですし、ライバルは上位を走っていますので、もっともっと上で戦えるようにしたいです。

■ ■ 圧巻の2戦連続V、チャンピオン争いを大きくリード ■ ■

地頭所選手がエキスパートに出場。エントリー台数は27台です。予選は9時55分から15分間で行われ、地頭所選手が予選開始2分後にコースイン。翌周から2周連続でアタックを行います。地頭所選手のタイムは1分51秒497(4位)1分51秒516(1位)。第9戦の予選結果は4位、第10戦が1位となりました。

第9戦の決勝は15時から行われ、地頭所選手は好スタート。3位で1コーナーに進入します。地頭所選手は2周目に2位に上がると、トップの#33山崎選手に接近。後続は離れており、トップ争いは2台に絞られます。地頭所選手は#33山崎選手に仕掛ける場所とタイミングを見極めながら冷静に周回。ラスト2週のヘアピンで#33山崎選手のインに飛び込みます。接触することなくオーバーテイクを成功させた地頭所選手は、#33山崎選手との差を広げ、トップチェッカー。第3戦に続く今季3勝目をマークしました。

第10戦の決勝では、予選1位の地頭所選手がスタートで出遅れ。2位で1コーナーに進入します。1周目終了時の順位は#380菱井選手、地頭所選手、#33山崎選手の順。地頭所選手は2台に挟まれており、早めに#380菱井選手の前に出たいところです。地頭所選手が仕掛けたのは6周目。昨日と同じヘアピンでインに飛び込みますが、#380菱井選手も譲らず。順位は変わりません。レースが動いたのはファイナルラップ。地頭所選手が再度ヘアピンでインに飛び込み、オーバーテイク成功。1回目の反省を活かした鋭いパッシングでした。地頭所選手はトップの座を守り切りトップチェッカー。圧巻の2連勝を達成し、チャンピオン争いを大きくリードしました。



#522 GB CAMP 86

地頭所 光

(第9戦) 決勝：1位
予選4位(1分51秒497)(第10戦) 決勝：1位
予選1位(1分51秒516)

■第9戦：4番グリッドから優勝でき、本当にうれしいです。すぐに前に出るのではなく、あえて少し待ち、2レース目のためにタイヤやブレーキを温存しながら様子をうかがっていました。ヘアピンはブロックしてこないという経験則があったので、ラスト2周で入り込み、サイドブレーキを使いながら、なんとかカクマをとめて、抜き去ることができました。

■第10戦：2連勝できたのはチームのみさんのおかげです。終盤、菱井選手を含むお互いのタイヤが摩耗していて、だいぶリスクではあったのですが、アトウッドで菱井選手がミスリ、バックストレートでスリップに入れたので、これはチャンスだと思い、いかせてもらいました。1回目の反省をふまえ、オーバースピード気味に入ったのですが、なんとか止まることができました。

PARTNERS



有限会社アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉スリーボンド株式会社

埼玉トヨペットホールディングス株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション

UNDER ARMOUR®

株式会社ドーム

トヨタ モビリティパーツ株式会社

トヨタモビリティパーツ株式会社

ハッピーライフ彩生

株式会社ハッピーライフ彩生

BRIDGESTONE

株式会社ブリヂストン

丸和工業

丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ株式会社